

主要事業マネジメントシート

部局名 福祉部

事業名		重症心身障がい児者地域ケアシステム整備事業(ケアコーディネート事業、医療型短期入所整備促進事業)								
予算額	H24	0千円(0千円)	H26	16,860千円(16,860千円)	実績	H24	0千円(0千円)
	H25	0千円(0千円)	H27要求	33,208千円(33,208千円)		H25	0千円(0千円)
事業の優先性		<input checked="" type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名: セーフティネット) <input type="checkbox"/> 成長戦略(項目名:) <input type="checkbox"/> その他(項目名:)		<input type="checkbox"/> 人口減少関係(項目名:) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン(項目名:)						
事業選択	役割分担	行政としての役割 <input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 (理由) サービス基盤が市町村域で完結しない重症心身障がい児者の地域生活を支援する市町村域でのケアシステムが十分に機能するために、市町村域を超えて整備されている医療機関や保健所などの広域的な機関が専門的な立場からアドバイスや支援を行うことを広域的観点から先導する必要があるため。	民間との役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由) 重症心身障がい児者の地域生活を支援するケアシステムの実践の先導は行政がすべき役割であるため					
	事業手法	(ケアコーディネート事業) 重症心身障がい児者と介護者が安心して地域生活を送るために必要な支援を行う医療・福祉・保健・教育等の様々な機関が参画した重層的な地域ケアシステムを実践する。 二次医療圏域ケア連絡会議を軸に、重層的な地域ケアシステムの構築や効率的な運営方法について議論をしたり、重症心身障がい児者とその家族や支援者のニーズ把握と利用促進に取り組むとともに、重症心身障がい児者とその家族や支援者への情報発信を行う。 ※26年度は南河内圏域でモデル的に実施し、27年度は他の5圏域で実践し、以降、市町村へ繋いでいく。 (医療型短期入所整備促進事業) 医療的ケアが必要な重症心身障がい児者の介護負担軽減に資するため、医療機関において短期入所事業を行う。								
	受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない								
	将来のリスク管理	(ケアコーディネート事業)26年度のモデル事業の成果をもとに、27年度5圏域で事業を円滑に実施していく。 (医療型短期入所整備促進事業)26年度のモデル事業での実施状況、課題を踏まえて、27年度以降の実施手法を検討。								
	事業間調整	庁内での連携 他事業との整合性 等	保健所、支援学校、教育委員会等と連携し事業を推進している。 他事業との重複はなし。							
事業効果	目標・指標	(事業目標) 重症心身障がい児者の地域生活を支えるケアシステムの実践と福祉サービス等の充実強化 (指標) 【ケアコーディネート事業】 ・26年度は南河内圏域で実施。27年度は他の5圏域で実施 【医療型短期入所整備促進事業】 ・26年度は三島、南河内圏域で実施。27年度は全圏域で実施			-目標に達しなかった場合の改善方策 					
	コスト分析	(事業期間) H 26 ~ H 27 (指標) H24(フルコスト) 千円/(分析単位) = 千円 (コスト分析結果) H25(フルコスト) 千円/(分析単位) = 千円 H26新規事業のため、コスト分析不可能								
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合に記載> 重度障がい者介護手当受給者のニーズが高い短期入所事業所の整備促進を緊急的に実施するとともに、重症心身障がい児者の地域生活を支える地域ケアシステムの実践を行うことを目的として、下記の事業を実施している。 <医療型短期入所整備促進事業> 地域で生活する医療的ケアが必要な重症心身障がい児者の受入れが可能となるよう、医療機関での短期入所の整備を促進(現在、三島圏域1病院、南河内圏域2病院を短期入所事業所として指定) <ケアコーディネート事業> 南河内圏域における重症心身障がい児者及びその介護者の実態やサービスのニーズ等に関するアンケート調査及び当事者向けの福祉サービス体験会を実施し、調査結果や当事者からのヒアリング等について医療・福祉・教育等の支援者で構成されるケア連絡会議で現在分析・検討中。 今後、事業者向け相談会や社会資源調査を行い、当事者及び支援者向けの情報発信につなげていく予定。 ※ケア連絡会議:2回開催(11月以降4回開催予定)。									